

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

令和 5 (2023) 年 12 月号

編 集 武田 隆久  
発 行 人 〒102-8414 東京都千代田区三番町 9-15  
一般社団法人 日本病院会 事業部教育課  
TEL 03-5215-6647 (受講生専用)  
FAX 03-5215-6648 (受講生専用)  
URL <https://jha-e.jp/>  
受付時間 10:00~17:00  
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)  
発 行 日 毎月 1 日

## 対面式の日本診療情報管理学会学術大会を終えて

末永 裕之

日本診療情報管理学会 理事長

小牧市病院事業管理者

第 49 回日本診療情報管理学会学術大会が 9 月 14、15 日に十和田市で開催されました。まだ東北地方では第 9 波の COVID-19 が増加しているなか、4 年ぶりの現地開催で皆様にはご苦労をおかけしたかと存じます。丹野弘晃大会長はじめ十和田市立中央病院のスタッフの皆様、そしてオール青森で学会を支えて頂きました関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。

学術大会では“地域の医療介護情報を活用する～地域における診療情報管理士の在り方とは～”のテーマに相応しいプログラムが満載されていました。また、診療情報管理士生涯教育研修会モーニングセミナー、学生セッションも開催して頂きました。

丹野大会長講演の“地域で輝く星となれ！～診療情報管理士にエールを～”では、「地域密着型急性期病院では地域医療介護ニーズと提供体制のマッチングが重要で、データによる制御が必要」など、2040 年を見据えた医療提供体制を問われている今、青森県の状況をお示し頂き、そのなかでの診療情報管理士の役割の重要性にも触れて頂きました。

私は“正確な情報を正しく活かす”の演題で、コロナ禍における「情報」とその取り扱われ方の問題、ウクライナ戦争におけるフェイクニュース、プロパガンダの中での「情報」の判断の問題、そして大規模言語モデルチャット GPT の話題に関して話しました。生成 AI の危険性は意識しつつも、診療情報管理のなかでも導入されていくのであろう効率性の問題等に関して、日本診療情報管理学会としても考えていく必要があると感じています。

十和田市は想像していた以上に遠方で交通の便も決して良くなく、宿泊場所確保にも皆様にご迷惑をおかけしたと思いましたが、それ以上に温かいおもてなし、穏やかな地方色を感じられて久しぶりの対面式での学術大会の良さを再確認できました。また多くの参加者の皆さんともお話しをすることが出来ました。

現地参加の皆様には対面でなければ感じられない熱量を感じとって、多くの学びがありまた他施設の方々とお話しする機会があったかと思います。

今回の学術大会の様子はオンデマンドで配信しましたが、学術大会の熱量の一部でも感じ取って頂ければ幸いに存じます。

来年は 8 月 22、23 日と福岡で第 50 回日本診療情報管理学会学術大会が予定されています。多くの皆様の発表、参加を期待しています。